

令和7年度第3回「千歳市子ども・子育て会議」会議録【公表用-要約版】

日 時	令和7年11月19日（水）10時00分～11時30分	
会 場	千歳市役所第2庁舎 会議室5・6	
出 席 者	委員 ※50音順	市（事務局）
	会 長 長谷川 誠	こども福祉部長 浅井 雅樹
	委 員 大瀧 恵二	こども福祉部次長 古島 知明
	委 員 岡田 里枝	こども政策課長 黒田 大
	委 員 奥山 佳子	こども政策係長 村井 友紀子
	委 員 押見 尚子	こども政策係主任 佐藤 由梨
	委 員 越智 乃里子	こども政策係主任 山崎 省吾
	委 員 影山 美樹	こども政策係主事 中村 怜生
	委 員 郡山 久美子	主査（こども施策推進担当）
	委 員 酒井 杏実	本間 公博
	委 員 三溝 理恵	保育係長 濱元 大輔
	委 員 白川 望	市（関係部署）
	委 員 高橋 恵美	子育て総合支援センター長
	委 員 橋元 久人	中津川 晃央
事 務 局	こども福祉部こども政策課	
会議の公開	公開	
傍聴者数	なし	

1 開会

委員数15人中13名の出席につき、会議が定足数（委員の半数以上の出席）を満たしていることを確認。

2 部長あいさつ

3 議事

（1）報告事項 ①第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画実施結果報告（令和6年度）について

【こども政策係から、資料1について説明】

（会長）

ありがとうございました。何かご質問はありますか。無ければ、報告事項 ①第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画実施結果報告（令和6年度）について 報告済みといたします。

(1) 報告事項 ②令和8年度保育定員の拡大に係る事業者選定結果について

【こども政策課長から、資料2について説明】

(会長)

ありがとうございました。何かご質問はありますか。無ければ、報告事項 ②令和8年度保育定員の拡大に係る事業者選定結果について 報告済みといたします。

(1) 報告事項 ③屋内型こどもの遊び場設置に向けた検討状況について

【主査（こども施策推進担当）から、資料3（非公開資料）について説明】

(会長)

ありがとうございました。何かご質問はありますか。

(A委員)

質問を2点させていただきます。

1点目はお願いですが、市民が広く利用できる一定のスペースを設け、そこで子育て世代が交流できるイベントが開催できれば利用者の増加につながるのではないのでしょうか。商業利用でバザーなどのイベントを行える場所が併設されていると良いと思いました。

また、千歳のまちの文化・歴史を知り、学べるスペースや市外から転入されてくる方も多いため、いろいろと街の情報が知れるスペースがあるとより良いのではないかと思います。他の都市の事例ではありますが、有料スペースとして歴史館があり、昔の生活の様子などに触れることができ、学習の場ともなっていたので、良いのではないかと思います。

2点目は利用料金について、他の自治体でも同様に利用料金の徴収はあるのでしょうか。料金が90分300円と聞いたときに、こどもを複数連れていくにはハードルが高いと感じ、お子さんを多く育てているご家庭を考えると、無料エリアと有料エリアを分けるなど、料金について再度検討していただきたいです。

(こども政策課長)

貴重なご意見をありがとうございます。

まず、交流の場などを設けられないかというご意見についてですが、今考えているのは、単なる遊び場を提供するのではなく、月に1回ないし2回でも親子で遊べる、集っていただけるような事業を展開していきたいと考えています。そのためにも一定のスペースは確保していきたいとは考えておりますが、遊び場の中で、そのようなスペースを一般開放していくことは、遊び場の観点からは率直に難しいと考えております。ただ、いただいたご意見につきましては、別で実現の可能性について模索させていただきたいと思います。

千歳市の文化、歴史の発信につきましては、大事な視点だと思っております。この点につきましては、相談コーナーを設置する方向で考えておまして、ここは単なる相談を受け付ける場ではなく、どういう情報を発信するかは、これから考えていくこととなりますが、さまざまな広報・冊子等の掲示や配布を考えており、その中で対応を考えていければと思いま

す。

2点目の利用料金については、これはさまざまな考え方があると思いますが、近隣の同種施設でも利用料金を徴収していることを鑑みますと一定の額は利用者にご負担をいただきたく考えており、この点をご理解いただければと思います。

(会長)

よろしいですか。

(A委員)

利用料金だけで初期投資等の費用を回収するのは難しいので、他の用途でも活用できるようにし、利用料金だけに頼らず他の収益性を考えることも一つの手ではないかと思いません。

(こども政策課長)

整備費や管理経費だけで相当の費用がかかる見込みですので、まずは利用料金を徴収することについて、市民の皆様にご理解いただき、その上で収益性を考えていく中で、今いただいたご意見も含め、利用者をどれだけ増やしていくか、市として今後もしっかり考えてまいりたいと思います。

(B委員)

(千歳タウンプラザにあった)「あそびのくにピッピちとせ」の利用料金は350円ぐらいだったと思いますが、それよりも料金が安くなっているのはなぜだろうと感じています。実際に、「あそびのくにピッピちとせ」を利用したことがあり、とても広いと思いましたが、当時、何㎡で運営していたのでしょうか。

(こども政策課長)

約1,800㎡です。

(B委員)

利用しているときに感じていたのですが、面積が大きすぎるとかえって危ないと思いました。思う存分走れることはとても良いことですが、広さはほどほどで良いと考えています。

(こども政策課長)

「あそびのくにピッピちとせ」につきましては、千歳タウンプラザの施設管理者が直営していたと聞いております。具体的な運営状況までは承知していませんが、事業者の負担はかなり多かっただろうと推察しています。広さについては、走り回れる空間が欲しい、一定の広さが欲しいという声をいただいております。その中で、「あそびのくにピッピちとせ」のような広さは妥当なのか、当然コストもかかるので近隣の公共施設を勘案して1,000㎡程度が妥当であり一定程度ご満足いただけたと考えた次第でございます。

(C委員)

子育てコンシェルジュを配置するということですが、①指定管理者が子育てコンシェルジュを新規に雇う。②現在、子育て支援センターにいる子育てコンシェルジュを配置する。どちらで考えているのかを教えてください。

(こども政策課長)

ご説明のとおり、今回は大半が遊び場、その一角に一部相談コーナーのブースを設け、子育てコンシェルジュを配置した相談・情報発信の場としたいと考えていますが、遊び場のスペースについての管理運営は、指定管理者にお願いをしたいと考えています。

一方で、相談コーナーについては、市の直営で既に配置しております子育て支援センターの職員を配置し、直営で行いたいと考えております。市内には子育て支援センターが公立で2施設、民間で1施設あり、そのうち民間のアリス子育て支援センターにつきましては、子育て支援事業等で諸々ご尽力をいただいておりますが、現在、子育てコンシェルジュは配置しておりませんので、子育て世帯が多い地域であることから、アリス子育て支援センターの事業に影響ない範囲で、またカバーできるという点で、直営で行いたいと考えております。

(会長)

その他、ご質問等ございますか？

(D委員)

対象年齢は0歳から小学校6年生までで決まりでしょうか。

(こども政策課長)

はい。中学生までは考えていません。こどもの区切りとしては例えば中学3年生ぐらいまでとの考えもあるかとは思いますが、0歳から小学校6年生というのが、全国的に見ても多いということを勘案させていただきました。

(D委員)

屋内遊び場なので動くことをメインに作られていると思いますが、対象の年齢をもう少し広げていただき、例えば屋内で勉強ができるスペースなどがあると良いと思います。ちとせモールのフリースペースで中学生が勉強をしているのを見かけるので、勉強する子は1クール100円など、料金を下げて設けていただけると良いかなと思いました。よろしく願いします。

(こども政策課長)

対象年齢についてはご理解いただきたいと思いますが、その上で、具体的な内容はこれらになりますが、皆様のご意見をいただいた中で、知育や発達、絵本コーナーを設けるなど、走り回って遊ぶということだけではなく、そうした玩具・遊具を使った教育的な部分というものを盛り込んだ内容にしたいと思っております。

最後にお話のありました中高生、大学生も広く利用する場所として、本市では駅前にある「まちライブラリー」が一役になっていると思いますが、そうした場所が欲しいという声も聞いております。その中で今回この屋内遊び場の中に設けることは施設面積的にも厳しいと考えておりますが、そうしたお声をいただいていることは千歳市としても十分に理解しておりますので、そこに向けても、何かしらしっかり取り組んでいけるように、他の関係部署とも連携しながら進めてまいりたいと思います。今回この中に盛り込めるか否かは難しいというのが率直なところですが、このことについては、真摯に受け止めていた

だきたいと思います。

(B委員)

私もイベントスペースはいいなと思いながら聞いていましたが、料金についてはもう少し高くてもいいのかなと思いました。

「あそびのくにピピちとせ」も利用していて素晴らしい施設だったと思いますが、この採算はどうなっているのだろうと利用しているときから感じておりました。人が多く集まり、高い遊具も揃っており、広さも充分で1クール350円だったので、破格すぎると思っていたら新型コロナウイルスの影響もあったと思いますが、あつという間になくなってしまい残念だったので、持続可能な管理運営をしていただきたく、そのためには、最初から高く設定しているほうが望ましいと思います。何が大事かという続けることだと思いますので、それに対しては利用者にもご協力をいただくのが良いと思います。

また、広さがあるのは良い反面、大人数を集めることは、ぶつかってけがをするなどのリスクもあります。万が一事故が起きた時には新聞等で公表されてしまい、最悪の場合、閉鎖しなくてはいけなくなることもあるので、収益性と持続可能性については、他市町村と比較しながら検討いただきたいと思います。実際に他市では、2,000円ぐらいする施設もあります。親としては頑張って行こうと思いますが、そんなに頻度を多くは行かずに、ご褒美感覚で行くと思います。親と子で4人合わせて1,000円ぐらいであれば行きやすいし、もっと高い料金であれば2ヶ月に1回などの頻度で利用したりするので、どこのラインなら払えるかという視点で持続可能なラインを検討いただきたいです。他市にはできたのに、千歳市にはできないというのがないようにしていただき、料金と利用満足度のバランスを見極めていただきたいと思います。

また、今回予定している屋内遊び場につきましては、小学校低学年が利用されることを想定されている印象を受けましたが、小学校低学年は自力で公園に行けるので、その子たちにターゲットを絞るよりも、親の付き添いが必要な未就学児をターゲットにした内容にしたほうが良いと思います。公園ではなく、ここに行かせたいっていうものがあると良いと思います。

(こども政策課長)

まず、はじめに、1,000㎡の面積につきましては、事業者からの説明によれば、安全管理上、親子含めて300人入れる広さとなっております。しかし、今のお話のとおり、安全にかつ、占有的に大きくご満足いただけるために、実際の定員は300人ですが、1クール200人まで人数制限をかけたいと考えております。利用料金につきましては、確かに委員のおっしゃるとおり、安すぎず、高すぎずの値段が良いと思っています。

お子さんが複数いらっしゃる世帯が1クール使っていただくことを想定した時には、大雑把に考えますと、1回の利用について500円を超える利用は少々高いだろうと考えました。そうしたときに、先ほど申し上げた他市町村の料金も勘案して、現在提示している金額であれば、ご納得いただけるのではないかと、また、運営費に対する安定的な財源を確保して

いくためには、一定額の料金はいただきたいと考え、決めさせていただいております。

持続可能性も大事であるという話がありましたが、今回、公立で設けようとした理由の1つにこの点も関係しております。公共として遊び場を整備する以上、長期的に運営を続けていくことを大前提としており、その点は建物の貸主にもご了承いただいた上で、今回の整備の判断に至ったところですので、持続可能性については十分に留意し、ニーズに沿うような、喜んでいただけるような施設作り、運営作りに努めていきたいと考えております。

(A委員)

先ほど他の委員の意見でも中高生の居場所を作ってほしいとお話がありましたが、結局こどもの遊び場とうたっているものの、こどもの行き先が欲しいという親の思いが強いです。こどもの居場所が欲しい、行き先が欲しいというだけなので、遊びに限定する必要はないと思いました。居場所という観点で先ほど、他の委員が言われたように、幼児を対象に遊び場を作るときに本当に1,000㎡必要なのかということだと思います。1,000㎡使えるなら、その1,000㎡の中で先ほど出ていた居場所を作ればよいと思いますし、こどもたちが走り回っても危険ではないぐらいの広さを確保して遊び場を作ればよいと思うので、1,000㎡の使い方をもう少し検討いただきたいと思います。

(こども政策課長)

こども達や保護者の居場所作りという観点で屋内遊び場の整備を進めておりましたが、「どういった玩具・遊具を入れるか」、「どういったゾーニングをするか」という観点に考えが偏りすぎていたところもありましたので、貴重な意見として、考えてまいりたいと思います。

(会長)

その他、よろしいでしょうか？それでは、特にその他ないようですので、今回の件につきましては今ご意見、ご質問を出していただいた内容を取り組みさせていただいて進めていただきたいと思います。よろしいでしょうか。はい、それではそのようにさせていただきます。

(1) 報告事項 ④令和6年度千歳市児童館学童クラブ運営業務委託に係る運営状況の概要について

【子育て総合支援センター長から、資料4について説明】

(会長)

ありがとうございました。何かご質問はありますか。

(E委員)

開館時間がずっと午後6時半までですが、時間の変更や延長は考えられないでしょうか。保育園、認定こども園の延長保育は午後7時まで行っており、兄弟がいる世帯では、上の子が学童に上がると、学童の方を先にお迎えに行かなければならなくなっています。そのため、保育園へのお迎えが7時ギリギリになるケースが多く、遠くの学童に通われている場合、保護者が焦ってお迎えに来ると事故の元にもなりかねず、また非効率なお迎え経路になる方

もいるので、対応してもらいたい。

(センター長)

現状、今ご利用されている学童クラブランドセル来館を利用される児童の迎えに来るタイミングですが、皆様様々でございます。施設を使う要件としては、週に3回以上のお仕事をされていて、15時以降に勤務が終了する方にしておりまして、子育て総合支援センターに併設されているちとせこの児童館では18時から18時半までの間にお迎えに来る方はそれほど多くないと実感しております。ただ、市内には児童館が11施設ありまして、そちらの動向は不明ですが、毎年、運営に当たってのアンケート調査行っておりますので、現状の利用状況で時間帯についてどのような意見があるかについては今後も調査していきたいと思っております。

(会長)

その他にご質問等ございますか。

(F委員)

小学校の運動会や学芸会等の行事の後は学童での預かりは行っていますか。

(センター長)

資料に記載のとおり、開館日は、月曜日から土曜日までとなっております。運動会、学芸会等の土曜日に開催される行事については、その後、来館して利用することは可能です。

(F委員)

その場合、その日に仕事がある旨の証明は必要になりますか。

(センター長)

利用するにあたりまして保護者が見守りシステムにあらかじめ利用申請していただいているのであれば利用可能です。

(F委員)

開館時間が9時からとなっておりますが、こども園、保育園は7時から開所しているので、7時に預けにくる方もいますが、児童館は9時にならないと開かないので、それまで一緒に預かってほしいというケースがあるため開館時間を検討いただけないでしょうか。

(センター長)

こちらで把握できていない点がございますので、もしよろしければ後ほど詳しく情報をお聞きかせください。

また、お聞きした情報を踏まえて令和9年度まで締結している契約内容で見直しをする際に反映できるかどうかを受託事業者と調整していきたいと思っております。

(こども政策課長)

事務局の立場から直接の所管ではありませんが、今おっしゃったのはいわゆる小1の壁の一つでもあると思っております。

このことについて、市内でどれだけのニーズがあるかについては、把握できていないところではありますが、全国的に見ても同様の事例は生じておりますので、これから状況把握には努

めてまいりたいと考えております。

(F委員)

4月1日が入園式なのですが、新年度の準備ができない中で、新1年生につきましては、学童の預かり開始が4月1日からであるため卒園後も3月31日までは通園しております。

幼稚園であれば学校と同じように春休み期間があり、新学期に向けて準備することができますが、保育園では31日まで卒園児がいるケースも多く、入園児の受け入れ準備をしながら卒園児を送り出す必要がありますので、先生方は時間に追われているという実情です。他市の事例では3月30日～31日については、新年度に向けて準備をするためという理由で、閉園していると聞いております。

年度の切り替えがある都合上、学童クラブでの受け入れが4月1日からということは承知しておりますが、年度末について、新たなお子さんを迎えるための準備期間として市内全園で閉園することを認めていただくようご検討いただけないでしょうか。

(こども政策課長)

おっしゃるとおりです。

お子さんが3月31日までは保育園児、4月1日から小学生という中で、お仕事の大変さはよく理解しております。

この場で、他市の事例を踏まえてお答えすることはできかねますが、ご意見を参考とさせていただきます今後課題として受け止めさせていただきたいと思っております。

(F委員)

報告事項②でもありましたとおり、保育定員(特に2号定員)を拡充するという事は、ますますこのような負担が大きくなることを意味すると考えられますので、ご検討いただきたい。

(こども政策課長)

はい。かしこまりました。

(会長)

よろしいでしょうか。ありがとうございました。その他、ご質問等ございますか。それでは特にその他、ご意見ご質問等ないようであれば、この件につきまして報告済みとさせていただきます。

4 その他

今後のスケジュールについて

【こども政策係長から口頭で説明】

5 閉会